

仕様書

ビデオ番組自動送出装置

SWB-06H

本装置は、最大6台のVTRやXDCAMデッキをタイムテーブルに従って番組を自動送出する装置です。本装置内蔵のSD（コンジット）スイッチャーに加え、外部のHDスイッチャーを制御することで、HD番組送出にも対応できます。

ハードウェア仕様

制御対象VTR

RS-232C制御機器：DVCAM(DSR20/45),BetaCAM(UVW-1200/1400)、
9P[°]マルチ機器：XDCAM(PDW-1500),XDCAM HD(PDW-F70),DVCAM,
他9P[°]マルチ機器
LANC制御機器：HDV(HVR-M25J/M15J)
VTRリモートコネクタ：高密DSUB15Pメス
*LANC機器の制御には対応の信号変換器が必要

外部スイッチャー ISS-41HD(イメージニクス製) HD-SDI/SD-SDI
CAS-31(イメージニクス製) HD Component

内蔵AVスイッチャー

AV入力	VTR	6系統	コンジットビデオ(BNC),音声600	+4dB(XLR3-32)*2CH
	AUX	2系統	コンジットビデオ(BNC),音声600	+4dB(XLR3-32)*2CH
	緊急入力	1系統	コンジットビデオ(BNC),音声600	+4dB(XLR3-32)*2CH
	BB入力	1系統	(BNC)	

AV出力	PROGRAM 出力	1系統	コンジットビデオ(BNC),音声600	+4dB(XLR3-31)*2CH
	MONITOR 出力	1系統	コンジットビデオ(BNC),音声600	+4dB(XLR3-31)*2CH

電源制御 DSR-20,DSR-45,LANC機器はソフトウェアでオン/オフします。
専用外部電源制御ユニット(開発中)で各機器のACコントロールが可能です。

変調器制御 変調器のオーディオモード(モノ、ステレオ、多重)を制御 (DIN5P)

アラーム出力 VTRが正常動作しない場合に出力。メーク接点 (DIN4P)

校正時計入力 校正時計からの校正パルスを入力することで、内部の時計を校正。
内部時計の精度は月差15秒(接点入力)(RCA JACK)

CRT タイムテーブルの映像を出力。(S-VIDEO)

リモート RS-232C(外部PCにてデータの入出力、動作モニターが可能)

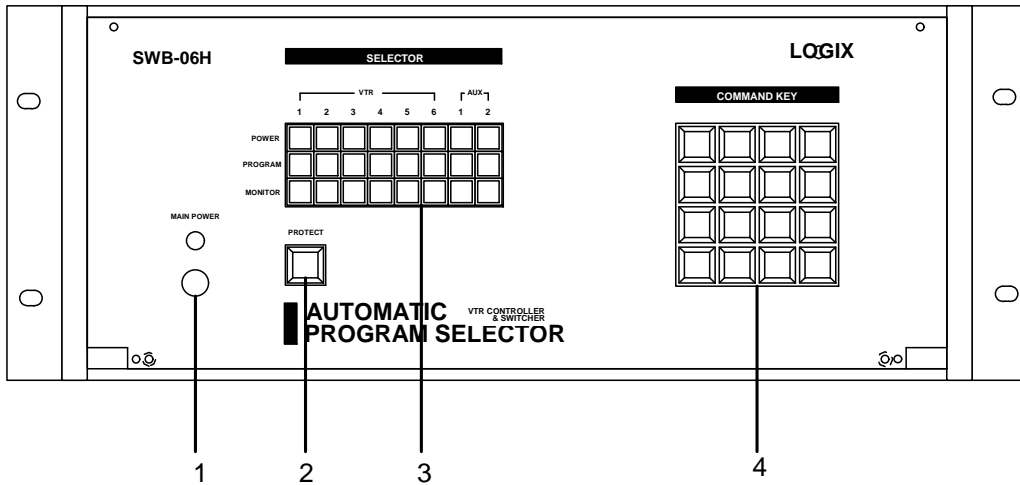
サイズ 482(W)*177(H)*400(D)突起部含まず EIA4U ラックマウント可能

重量 約10Kg

消費電力 AC100V 40W(本体の消費電力) FUSE:1A125V使用
各AC SWITCHED OUT 最大200W,合計 最大500W FUSE:5A125V使用

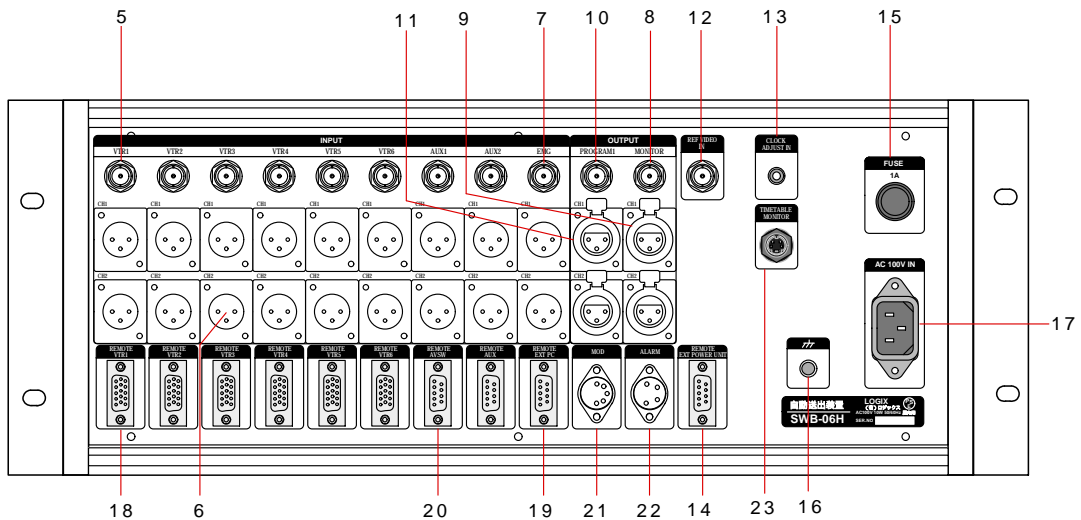
外観図

前面



- | | |
|------------|----------------|
| 1 電源スイッチ | 鍵スイッチを採用。 |
| 2 プロテクトボタン | AVセレクトキーの保護用 |
| 3 AVセレクトキー | AV出力選択、ソース電源制御 |
| 4 コマンドキー | データ入力用 |

後面



- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 5 コンポジットビデオ入力(BNC) | 14 外部電源制御ユニット |
| 6 音声入力(XLR3-32) | 15 FUSE(1A) |
| 7 緊急ビデオ入力(BNC) | 16 アース端子 |
| 8 モニタービデオ出力(BNC) | 17 電源入力 |
| 9 モニター音声出力(XLR3-31) | 18 VTRリモート(DSub9P) |
| 10 プログラムビデオ出力(BNC) | 19 外部PCリモート(DSub9P) |
| 11 プログラム音声出力(XLR3-31) | 20 外部スイッチャー制御(DSub9P) |
| 12 BB入力(BNC) | 21 変調器制御出力(DIN5P) |
| 13 校正時計入力(RCA) | 22 アラーム出力 |
| | 23 タイムテーブルモニタ(S-Video) |

*18 VTRリモートコネクタにはRS-422とRS-232Cがアサインされています。

コントロールできるVTRや再生装置

RS-232C制御機器：DVCAM(DSR20/45)、BetaCAM(UVW-1200/1400)、
9Pプロトコル機器：XDCAM(PDW-1500)、XDCAM HD(PDW-F70)、DVCAM、BetaCAM SP
他9Pプロトコル機器
LANC制御機器：HDV(HVR-M25J/M15J)
*9Pプロトコル機器の制御にはオプシヨンのレベル変換器が必要
*LANC機器の制御にはオプシヨンの信号変換器が必要

本装置のVTRリモートはUVW-1200(1400)、DSR-20/45のRS232Cプロトコルと、9Pプロトコルに対応していますがコネクタに出力される信号はRS232Cレベルです。UVW-1200(1400)、DSR-20/45には直接接続できますが、9Pプロトコル機器はレベル変換ボックスでRS-422に変換して接続します。またLANC制御機器もインターフェースボックスを経由して制御できます。

タイムコードによる制御

VTRの制御はタイムコードによって行います。タイムコード機能のないVTR、タイムコードが記録されていないテープは使用できません。番組のはじめのタイムコードと、終わりのタイムコードを設定することにより、頭出し動作や、送出時間の計算等を行います。

XDCAMの場合、DISCに記録されたタイムコードが最初から最後まで連続している場合、従来のVTRと同じ9Pプロトコル機器として使用できます。DISKに複数のクリップが存在し、タイムコードが独立して存在する場合、VTRプロトコルだけでは目的の場所にキューアップできません。そこでXDCAMの場合、CLIP番号とタイムコードを合わせたキューアップを行います。

VTRバンク

本装置は、1本のテープもしくは1枚のDISCに対して9番組を設定できます。これをVTRバンクと呼びます。VTRバンクは、VTR(XDCAMを含む)ごとに9個のバンクがあり、それぞれが1つの番組になります。このデータはVTRの場合、番組先頭と番組終了のタイムコード、XDCAMの場合、クリップ番号、番組先頭と番組終了のタイムコードからなります。

VTR1の場合はV1-1~V1-9、VTR5の場合はV5-1~V5-9の様に表現します。の様に設定します。このVTRバンクデータにより、頭出し動作や、番組の長さの計算を行います。

タイムテーブル

送出は、タイムテーブルに従って実行されます。

タイムテーブルに入力するデータは実行開始時刻、VTRバンク番号です。

VTRに関しては、あらかじめVTRバンクデータの設定が必要です。

まず、最初に、スタートする曜日、時刻、出力するソース(VTR、AUX)を入力します。

出力するソースがVTRなら、出力される番組の長さは計算されていますので、自動的に次の開始時刻は表示されます。

AUXの場合は、タイムコードがないため番組の長さの計算ができませんので、次に実行する時刻を入力することになります。

タイムテーブルにはタイムコードを入力する必要がないので、タイムテーブル入力、変更はいたって簡単です。また、繰り返しのパターンは、コピー機能により、何度も同じデータを入力する必要はありません。タイムテーブルは1200行迄入力できます。平均的な送出プログラムなら、2~4週間分くらいは入力できます。

HD(デジタル)への対応

本装置に内蔵するAVスイッチャーはSDアナログ用です。XDCAM-HD、HDV、SDIの信号をスイッチすることはできません。HD信号やデジタル信号に対応するため外部に対応するスイッチャーを設置しそれを制御できます。本装置内蔵のスイッチャーと外部スイッチャーは同時に使用できます。

内部のAVスイッチャーについて

内蔵のAVスイッチャーは9入力2出力構成です。
入力はVTR1～6、AUX1～2、緊急の9系統。
出力は、プログラム出力、モニター出力の2系統です。

音声入力について（レベル調整機能）

音声入力はバランス（平衡）の600Ω、+4dBを基準にしています。キャノン(XLR)タイプのVTRはそのままストレートに接続できます。

その他の機種の場合(RCAピン等)は、そのままの入力ではレベルが合いませんで、レベルとインピーダンスを合わせる必要があります。本装置は、0～+14dBまで2dBステップでゲイン設定ができますので-10dBの信号なら+4dBまで増幅可能です。入力チャンネルごとにソフトウェアで設定可能です。

また、インピーダンスの切替は、本装置内部のボード上のジャンパーでハイインピーダンス（47KΩ）に切り替え可能です。この機能により、外部にレベル調整器や変換ユニットを設ける必要がありません。（ただし、コネクタはキャノン(XLR-3)ですから、RCAピンの場合は変換ケーブルが必要です。）

プログラム出力監視機能

出力されるビデオ信号をモニターし、信号が途切れるとアラームが鳴ります。
アラームは、アラーム音と外部への信号出力が可能です。

緊急入力について

緊急入力は特別な動作をします。この端子にビデオ信号が入力されると自動的に出力をこの信号に切り替えることができます。この機能は設定でON/OFFできます。
外部からの緊急信号入力として使用します。

時計校正

内部の時計は、外部からの接点信号で校正することができます。

信号が入力されると30秒補正を行います。

30秒補正：0～29秒までは0秒に戻ります。

30～59秒までは1分進んで0秒になります。

この機能を使用するには外部に校正時計が必要です。

タイムテーブルモニターについて

アナログRGB（水平周波数15.75KHz）、S-VIDEO入力のカラーモニターが使用できます。

変調器制御について

変調する場合は音声モードを設定できます。

VTRごとに、モノラル、ステレオ、音声多重を指定しておく、送出実行時、変調器をそのモードにコントロールすることが可能です。

電源制御について

接続VTRや、AUX機器の電源は、本装置から専用外部電源制御ユニット（開発中）を制御しオン/オフできます。

外部PCによる制御

外部リモート端子（RS-232C）に外部PCを接続し、本装置の実行状態のモニター、タイムテーブルやバンクデータの設定、切替の操作など、本装置の前面パネルの操作とほぼ同じことができます。また、実行履歴の表示、各種データの印刷も可能です。

The screenshot displays the SWB-06H Remote software interface, which is used for controlling the device via an external PC. The interface is divided into several main sections:

- TIME TABLE:** A table showing the schedule of operations.

No.	Week	Time	VTR-B	Mod
1	MON	10:00:00	V01-1	Stereo
2	MON	10:01:00	V02-1	Stereo
3	MON	10:02:00	V03-1	Biling
4	MON	10:03:00	V01-2	Stereo
5	MON	10:04:00	V02-2	Stereo
6	MON	10:05:00	V03-2	Stereo
7	MON	10:06:00	AUX1	Biling
8	MON	10:06:00		Biling
9	MON	11:00:00	REPT	Mono
10				
11				
- VTR BANK:** A table showing the configuration for each VTR bank.

VTR-B	ClipNo	TOP T/C	END T/C
V01-1		00:02:00:00	00:03:00:00
V01-2		00:04:00:00	00:05:00:00
V01-3		00:06:00:00	00:07:00:00
V01-4			
V01-5			
V01-6			
V01-7			
V01-8			
V01-9			
- VTR-B Status Table:** A table showing the current status of each VTR bank.

VTR-B	Status	ClipNo	Run T/C	Clip	Top T/C	End T/C
V01-1	PLAY	00:02:14:07	00:02:00:00	00:03:00:00
V02-1	OFF	--:--:--	00:05:00:00	00:06:00:00
V03-1	OFF	--:--:--	00:05:00:00	00:06:00:00
V04-1	OFF		--:--:--	C0001	00:00:10:00	00:00:50:00
V05-1	OFF		--:--:--	C0001	00:00:10:00	00:00:50:00
V06-A						
- SWB-06H Remote Selector Panel:** A control panel with buttons for Power, Program, and Monitor for each VTR bank (VTR1-VTR6, AUX1, AUX2). It also includes VTR CONTROL buttons for Stop, Play, and Search for each VTR bank.
- SWB-06H Remote Main Panel:** A detailed control panel for each VTR bank, including options for VTR type, gain, and protocol, as well as an Option section for Week Input, No Video Jump, Tape End, Erase Week Time, and Next Time Calc.

不明な点は下記までお問い合わせ下さい

(有)ロジックス 開発、製造元
担当 山本

電話 0956-25-3963

FAX 0956-25-3964

E-mail logix@lgx.co.jp

857-0055 長崎県佐世保市湊町2-15

系統図

